

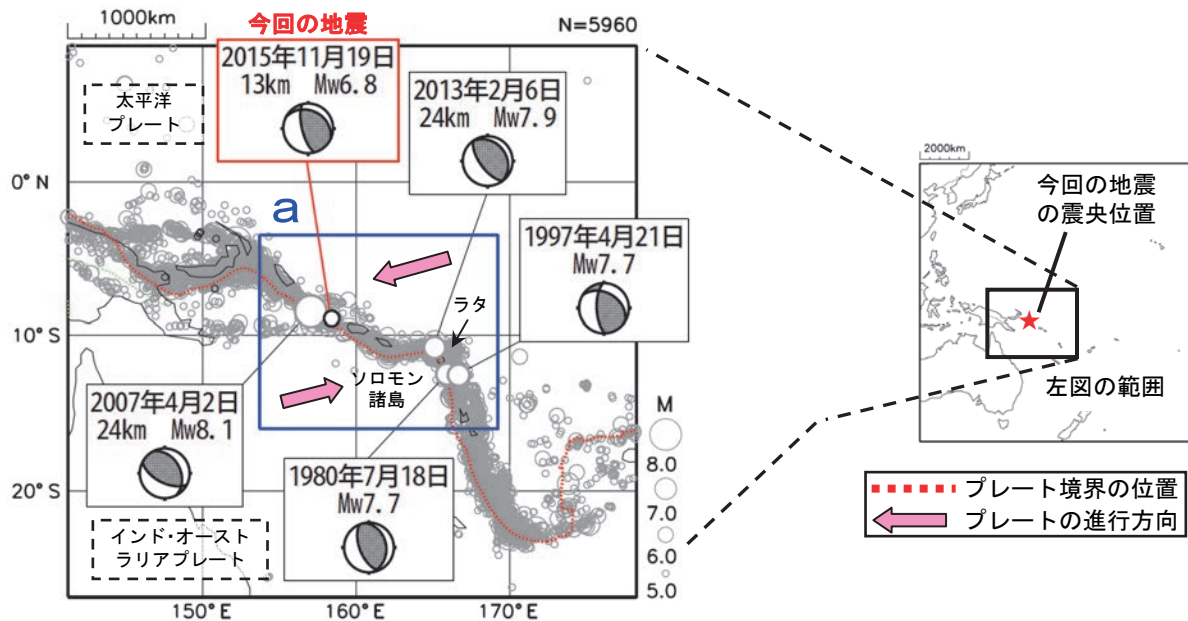
11 月 19 日 ソロモン諸島の地震

2015 年 11 月 19 日 03 時 31 分（日本時間、以下同じ）に、ソロモン諸島の深さ 13km で Mw6.8 の地震が発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1980 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M7.0 を超える規模の地震が度々発生している。2007 年 4 月 2 日には Mw8.1 の地震が発生した。この地震により津波が発生し、ソロモン諸島で死者 54 人の被害を生じた。2013 年 2 月 6 日には、Mw7.9 の地震が発生し、ソロモン諸島のラタで 104cm などの津波を観測した。日本国内でも、北海道から九州地方にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆・小笠原諸島で津波を観測している。

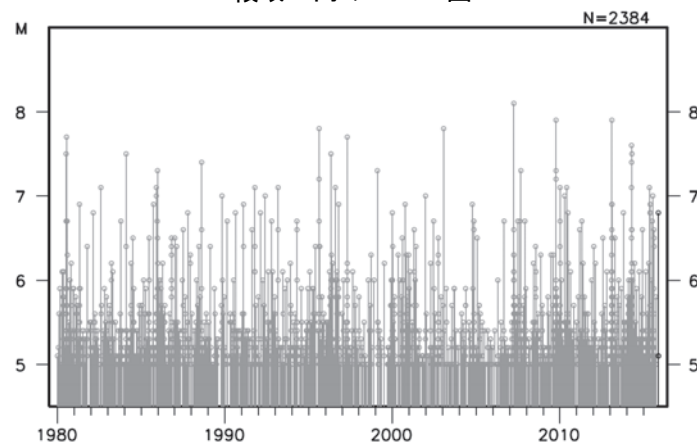
なお、気象庁は同日 04 時 03 分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

震央分布図
（1980 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ ）
2015 年 11 月の地震を濃く表示



プレートの進行方向は、インド・オーストラリアプレートと太平洋プレートをそれぞれ固定した場合の相対的な方向である。

領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震及び 2009 年以降の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構と Mw は GlobalCMT による。震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2015 年 12 月 2 日現在）。過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.